

# 開成の杜

第100号 ●2016年6月15日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024(932)4848(代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



改装された学生会館

(撮影 山口郁生)

## 季節の変わり目に思う



理事長・学園長  
関口 修

待ち望んだ桜の開花を悦ぶ暇もなく、散りゆく花びらを筏にして、去り行く春への感謝は毎年のことですが、迎える初夏の景色には一段と趣を感じるようになりました。

幾重にも織りなす萌黄色の微妙な光に魅了されるのは毎年のことですが、取り分け今年には雨に煙る風情をも愛でることが出来ました。

連休の一日、雨の中、裏磐梯に車を走らせてみました。一面の萌黄色の世界から残雪に彩られた木々が雨に煙る中の薄墨色の山桜や純白な辛夷が今を盛りと咲き誇る様から、時の移ろいと自然の妙を教えられました。

松原湖の湖畔と猪苗代湖の岸辺とでは春と初夏の違いが歴然としていたのです。

人は様々な苦難に耐えることのなかから、己を鍛え、時の来るのを待ち、自己の実力を発揮しています。一方、厳しい自然環境に置かれた木々は、その環境を選択できず、逃れられないながらも、季節の到来を待ち、一斉に美しい花を開かせて存在を誇示します。

人間にとって若者が一斉に開花した例はないようです。高等学校までは、概ね、同じような学習環境で時間を経過していると仮定すれば、何処

で開花の時期に違いを生じているのでしょうか。

生まれた時は同じでも努力の過程では個々人に違いが出るのではないのでしょうか。そして、何時かは花を開かせようと絶え間ない努力を重ねていることを尊びます。先人の言葉に「継続は力なり」との名言が物語っています。然しながら、努力の継続を忘れたり、怠けることに鈍感になつたり、気付くべき時に気が付かずにいる人がいることも事実です。それでは花を咲かせないでしょう。

人間の使命は云うまでもなく他者の役に立つことにあるのではないのでしょうか。人に認められ、感謝される喜びを大切にしなければと思います。即ち、成功体験なのです。失敗の経験が成功に変える知恵こそが学修の意義であると思えます。私の知る限り、失敗の経験なしに成功した人はいないのです。

人生の花を咲かすには失敗から学ぶ貴重な経験の積み重ねが必要でしょう。幾多の苦勞と忍耐の経験から育まれる豊かな人間性を大切にしなければなりません。

学生・生徒の皆さんには、若いうちだから出来る苦勞が沢山あります。苦勞を厭わずにチャレンジする心を鍛えましょう。

洋の東西を問わず、「艱難汝を玉とする」とか「苦勞は買ってでもせよ」と云われているのですから。

(平成28・5・24記)



# 学校法人郡山開成学園創立70周年を祝う 声高らかに「青春の確かさを今」

学園は創立70周年を迎えた。  
4月22日、厳かに記念式典が行われた。生徒、学生、教職員など併せ1500名が臨んだ。郡山開成学園オーケストラの演奏で式典歌を歌い祝った。



70周年の喜びを述べる学園長

関口修学園長は冒頭「現在大変な苦勞をなさっている熊本県の住民の方々に励ましの言葉を送り、被災地の1日も早い復旧を願い、1分間の黙祷を捧げましょう」と呼びかけた。続いて関口学園長は、「今年が創立70周年の節目の年です。今、学園のあるこの地区は先人が安積原野を開拓した地である。ここに礎を定めた本学園が70周年の歴史を刻むことができたのは多くの人々、社会の協力があったからこそである。そこに集う我々は建学の精神である『尊敬・責任・自由』を基に学び得た知識を磨き、社会の発展に寄与しなければならぬ」と述べた。

## 新緑の裏磐梯で宿泊研修 — 学外オリエンテーション —

教師と学生が宿泊研修を通して相互理解と親交を深める新入生学外オリエンテーションが4月27日・28日両日、裏磐梯のホテルで行われた。大学・短大生343名が宿泊研修を行った。

新入生にとっては入学式を終えたばかりで西も東もわからない状態にあり、この研修で主任講話や専攻別の研修で学園のこと、講義のことを教わって、自己紹介お互いの存在と教師との距離を縮めることができた。特に夕食とその後の懇親会では親



学外オリエンテーション

密さが増し、今後の学園生活への不安を一掃した。

師と学生が声を合わせる大合唱となった。



教職員が歌う「若者讃歌」

## 永年勤続者表彰

記念式典の席上、永年勤続者表彰が行われ、7人に記念品と金一封が贈られた。受表彰者を代表して澤井美恵子さんが「記念すべき70周年に表彰されましたことを嬉しく思います。これからも人の和を大切に、仕事に邁進します」と決意を述べた。表彰者は次の通り。(敬称略)

- 【勤続40年】  
▲図書館/遠藤 幸子  
▲総務部/澤井 美恵子
- 【勤続20年】  
▲短大/桑野 聡  
▲管財部/佐藤 利枝子

平成28年度

## 第1回教養講座 藤森照信氏が講演

講師は建築史家・建築家である藤森照信氏。長野県茅野市出身で東北大学工学部卒業。演題は「自然を生かした建築」。

藤森流の建築は屋根に生えるタンポポやニラ、表面を焦がした「杉板」などの自然素材や植物などにこだわり、建築やデザイン関係の人々はもちろん、広く一般の人々に「建築の楽しさ」を訴えている。学生や教職員は、藤森先生の「空飛ぶ泥舟」「チヨコレートハウス」「タンポポハウス」「ニラハウス」などのユニークな建物の写真に見入っていた。



講演する藤森照信氏



表彰された皆さん

## 平成27年度 附属高校進路先一覧

平成28年3月31日 現在 (在籍108名)

### ◎大学

進路先	所在地	人数
郡山女子大学 家政学部	福島	14
福島大学 人文社会学群	福島	1
東京学芸大学 中等教育教員養成課程	東京	1
都留文科大学 文学部	山梨	2
仙台大学 体育学部	宮城	1
東京成徳大学 子ども学部	東京	1
日本体育大学 体育学部 体育学科	東京	2
東京造形大学 造形学部	東京	1
駒澤大学 法学部	東京	1
立正大学 社会福祉学部	東京	1
明星大学 教育学部	東京	1
日本女子体育大学 体育学部	東京	1
東京工科大学 応用生物学部	東京	1
流通経済大学 社会学部	千葉	1
城西国際大学 国際人文学部	千葉	1
浦和大学 総合福祉学部	埼玉	1
尚美学園大学 芸術情報学部	埼玉	2
東海大学 文学部	神奈川	1

### ◎短大

進路先	所在地	人数
郡山女子大学短期大学部	福島	37
福島学院大学短期大学部	福島	1
宇都宮文星短期大学	栃木	1
女子美術大学短期大学部	東京	1

### ◎専門学校

進路先	所在地	人数
太田看護専門学校	福島	3
郡山看護専門学校	福島	1
国際メディカルテクノロジー専門学校	福島	1
郡山健康科学専門学校	福島	1
東北歯科専門学校	福島	1
日本調理技術専門学校	福島	1
国際ビューティ・ファッション専門学校	福島	1
郡山ヘアメイクカレッジ	福島	1
仙台医療専門学校	宮城	2
日本外国語専門学校	東京	3
日本工学院八王子専門学校	東京	1
東京デザイナー学院	東京	1
東京スイーツ&カフェ専門学校	東京	1
日本菓子専門学校	東京	1
専門学校ビジョナリアーツ	東京	1

### ◎就職

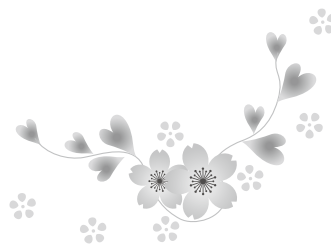
進路先	所在地	人数
福島県警察官	福島	1
株式会社うすい百貨店	福島	1
かいせい歯科クリニック	福島	1
株式会社三万石販売コーポレーション	福島	1
Nature-style	福島	1
日本パッキング工業(株)白河製作所	福島	1
ハマツ観光株式会社	福島	1
一般財団法人太田綜合病院(臨時)	福島	1
ハマツ観光株式会社	福島	1
(有)アサカサービスセンター	福島	1
一般財団法人太田綜合病院(臨時)	福島	1
プレスレージインターナショナル	山形	1
株式会社ワンダーテーブル	東京	1

## 平成27年度 附属高校における進路状況について

平成27年度、本校卒業生の進路決定率は、約98%(106人/108人中)であり、目標の100%には届かなかったが、ここ3年間、97%以上の実績を継続している。進路先の内訳は、進学が86%で、就職が12%であった。

進学では、郡山女子大学及び短期大学部に51人(昨年度40名)合格したのを含め、大学へ33人、短期大学へ40人が進学した。昨年度の進路先の傾向としては、継続して本学志向が高いことと国公立大学進学希望者が増加してきたことが挙げられる。

今後も安易な進路選択をさせないよう十分な情報提供や面談などを実施し、適正な進路指導を行っていく。就職に関しては、昨年度も順調に内定をいただき、公務員試験に合格するなど、全員が希望する就職先に合格した。今後もミスマッチのない職業選択に心を配りながら就職指導を進めていきたい。今年度も、高校教職員が一致団結して、生徒の進路希望を実現させられるように細やかに支援していく。



# 全国大会・東北大会に続々と名乗り

平成28年度全国高校体育大会の県予選が行われ、バレーボール部・新体操部(団体)・ハンドボール部が全国大会出場を決めた。

また、卓球でも団体およびダブルスで3組、シングルスでも4人が東北大会に出場する。

全国大会は7月28日から8月20日まで中国地方を中心に開催される。

## 第62回県高校体育大会 バレーボール競技

▽2回戦  
郡山女子大附属2-0会津

▽3回戦  
郡山女子大附属2-0保原

▽準々決勝  
郡山女子大附属2-0原町

▽準決勝  
郡山女子大附属2-0田村

▽決勝  
郡山女子大附属2-0磐城

バレーボール部は地区予選から1セットも落とさず、3年連続18回目の出場を決めた。主将の鯉淵瑞希選手(3年)、エースの目黒安希選手



優勝を喜ぶ25名の選手

(同)を中心にレシーブ力を強化し、日頃の練習の成果を発揮した。鯉淵主将は「全ては心から 笑顔で楽しく」を合言葉に全国高校総体(インターハイ)に向け「細かいプレーを確認して全員バレーで全国大会16強を目指す」と力強く語った。

## 第62回県高校体育大会 ハンドボール部2連覇

ハンドボール部が創部4年目で圧倒的な強さを発揮、堂々の2連覇を達成した。決勝戦でも得意の堅守速攻で3連続得点で序盤から試合を優位に進め、完勝した。

遠藤和主将は「全国大会でも自分たちのプレーをしてベスト8以上を目指します」と力強く語った。

▽1回戦  
郡山女子大附属57-0福島北

▽2回戦  
郡山女子大附属29-7橘

▽準決勝  
郡山女子大附属33-8光南

▽決勝  
郡山女子大附属30-12学法石川



2年連続優勝を喜ぶ選手達

## 第62回県高校体育大会 新体操競技

▽団体 優勝  
郡山女子大附属

6年連続東北・全国大会出場

▽個人総合

2位 渡邊 柚芽理(東北大会出場)  
3位 星 妃羅良(東北大会出場)

4位 中倉 桜都

5位 星 愛梨

6位 金澤 萌桃



東北優勝・全国上位入賞を目指す8人のメンバー

## 第62回県高校体育大会 卓球競技

▽団体3位 郡山女子大附属  
東北大会出場

▽ダブルス 東北大会出場  
北澤椎奈・長谷川春佳組

押山桜月・菊田茉莉組

金澤綾花・小林菜歩組

▽シングルス 東北大会出場  
金澤綾花・菊田茉莉・  
押山桜月・北澤椎奈

# 特集 研修紀行

## 短期大学部

### 【沖縄の保育に触れて】

短大・幼児教育学科 小川 莉穂

幼児教育学科は、昨年27年度の研修旅行で沖縄へ行きました。保育実践家の斎藤公子先生ゆかりの保育園の視察、「首里城」や「ひめゆりの塔」への訪問等、沖縄の歴史に直接触れ多くを学びました。訪れた保育園では、園舎の床がすべて木になっており、子どもたちが裸足で自由に駆け回れるようになっています。また、年長組の体操の時間を参観し、自律性や体のバランスを養う活動を目の当たりにしました。子どもたちは、園庭で服が汚れることも気にせず、保育者も一緒に泥だらけになって遊んでいたことが印象に残りました。沖縄戦についての講話を聞き、近代史を肌で感じる事ができました。友人との思い出も沢山でき、大変充実した研修旅行となりました。



幼児教育学科研修旅行(沖縄)

### 【倉敷奈良京都の歴史を学ぶ旅】

短大・文化学科 藤井 綾音

私たち文化学科は、2月末に3泊4日の研修旅行に行っていました。倉敷美観地区の見学では現地のガイドの方から、地区内の建造物の歴史建築様式などをお聞きしました。奈良・京都の研修では、今まで平面的資料で見えていた貴重な歴史的遺物を実際に見ることができました。また、京都の金戒光明寺で、幕末の京都で命を落とした会津藩の人々の墓地へお参りし、お話を聞けたことが印象に残っています。離れた地での地元ゆかりの人物についての話を聞くという貴重な体験ができました。これからの学習の糧となる充実した研修旅行になりました。



文化学科研修旅行(倉敷)

### 【東京方面への食を学ぶ旅】

短大・家政科食物栄養専攻 高橋 未那

2泊3日の日程で東京方面へ研修旅行に行っていました。チキンラーメンファクトリー、ホテルニューオータニでの厨房見学、食品工場見学、築地市場見学と、食を学ぶ学科ならではの充実した研修内容でした。特に印象に残ったのは、「ミセス・テイッシュのテーブルマナー講習」です。クイズを交え、会話を楽しみながらフランス料理のフルコースをいただきました。また、おもてなしの



東京方面への食を学ぶ旅

心も学ぶことができました。研修旅行を通して、栄養士の仕事には、料理を作るだけでなく、お客さまとのコミュニケーションや気配りが大切であると感じました。今後はこの経験を生かし、自分たちの夢の実現に繋げていきたいと思えます。

### 【学びの旅】

短大・家政科福祉情報専攻 成澤 翔華

2月の初旬に福祉情報専攻の研修旅行で、神戸、大阪、京都を訪れました。神戸では、北野異人館街やベイエリアの散策、ファッション美術館鑑賞などを存分に堪能でき、ホテルのテーブルマナー研修では緊張しながら美味しい料理を味わいました。2日目の大阪では日本最大級の福祉・介護関連製品体験型展示施設「ATCエイレスセンター」で、最新の介護用品の見学体験をし、人工知能が搭載されたセラピー用のロボットに関心を持ちました。このように全ての人に役立つ製品が開発されている技術の進歩を素晴らしいと思いました。USJではアトラクションを楽しみ、ゲストを喜ばせる小さな心遣いがとても嬉しく、私も見習いたいと思いました。最終日の京都では、金閣寺、平安神宮、清水寺を見学しました。平安神宮の庭園は穏やかな安らぐ雰囲気、現代の目まぐるしい世界とは異なる、ゆっくり時間が進む別世界でした。

この研修旅行で初めて訪れた地での様々な気付きは、机の上だけでは勉強できないことを知る「学びの旅」でした。



福祉情報専攻研修旅行(神戸)

# 361名 希望の春 大学・短大・専攻科

学園の桜が咲き始めた4月6日、郡山女子大学大学院第23回、郡山女子大学第51回、同短期大学部第67回、同専攻科第17回の合同入学式が建学記念講堂で行われた。郡山開成学園オーケストラの演奏の後、大学院3名、大学100名、短期大学部256名、専攻科3名の計361名が一人ひとり呼名され、関口修学長が全員の入学を許可した。関口修学長は「入学おめでとう。『尊敬・責任・自由』の建学の精神

を理解し、学問を身につけ、人間性を豊かな女性を目指すことを願う」と告辞を述べ、来賓の日向恵開成学園家族会会長、安齋悦子郡山女子大学短期大学部同窓会長が挨拶、続いて附属高校3年の遠藤和さん、附属幼稚園の喜多瑞希ちゃん、後藤結乃ちゃんがお祝いの言葉を述べた。

さらに在学生を代表して大学・栄養学科4年の大越美穂さんが歓迎エールを送った。これに対して新入生を代表して短大・生活芸術科の高橋すずねさんが「学則を守り、未来への希望をもって、世の中に貢献できるよう、学問にまい進します」と誓いの言葉を述べた。

# 入学



## ようこそ開成の杜へ

誓いの言葉を読み上げる生活芸術科の高橋すずねさん

### 附属高等学校

平成28年度郡山女子大学附属高等学校第60回入学式は、4月8日に挙行された。新入生は普通科50名、音楽科11名、美術科10名、食物科19名の計90名。式はコラルの「すべての宝にまざる宝」の演奏で開幕。各担任により一人ひとり呼名され、続いて佐々木校長より入学が許可された。校長は式辞の中で、「学習や部活

動に積極的に取り組み、目標に向かって努力してください」と述べた。来賓の祝辞のあと、在校生を代表して佐藤千桐さんが祝辞を述べた。新入生を代表して中倉桜都さんが保護者と共に中央ステージで「充実した環境のもとで勉強、部活に励み、これからの高校生活を有意義に過ごします」と、心をこめて学校長に誓いの言葉を述べ、附属高校生としての第一歩を踏み出した。



### 附属幼稚園

園庭の桜の花も満開となり、晴天に恵まれた4月12日、幼稚園の第62回入学式が行われ、24名が園児の仲間入りをした。式はクラスごとに行われた。園児一人ひとりの名前が呼ばれ、賀門園長先生から入園許可をいただいた。「よくみる、よくきく、よくかかると、元気が過さず」ことを約束した。続いて年長組から手作りのペンタントがプレゼントされ、明日からの幼稚園生活に期待をふくらませている。



### 私が郡山女子大学を志願した理由

私は将来、病院に入院している方の社会復帰に向けて支援する医療ソーシャルワーカーになりたいと考えて、福祉コースを志願しました。また、福祉その家族が医者と言えない事を解決でき、患者が生活に希望をもてるようサポートできるようにしたいです。郡山女子大学は福祉を詳しく学ぶ事ができ、知識や技術を高める点において最適だと感じました。私は4年間で知識や技術に加えて会話力・察知力を鍛え上げることが目標にしたいと考えています。



大学 人間生活学科 関川 真子

### 私が附属高等学校を志願した理由

私は子どもが大好きで、子どもに関わる仕事がしたいと思い、保育士・幼稚園教諭を目指しはじめました。本学の建学の精神に於いてや授業内容が充実していること、附属幼稚園があり、学習環境が整っていることを知り、そこに魅力を感じて入学しました。これから2年間、子どもや保育者についてだけでなく、他者との関わり方や表現についてなど様々なことを学び、たくさんの経験を積んでいきたいです。そして有意義な大学生活を送れるよう、取り組みたいと思います。



大学 幼児教育学科 磯 あかり

### 私が附属高等学校を志願した理由

私は一生の仕事に、病院の仕事や一般企業の社員食堂などで管理栄養士として働きたいと思っています。そのためには本学に入学し管理栄養士としての知識や技術を身につけ、様々な場面で活躍できる女性になりたいと思いを込めて入学しました。本学では多種多様な科目選択ができることや徹底した就職サポートに心惹かれ今後の大学生活がとても楽しみです。私はこの4年間の大学生活を充実したものにし、最終目標である管理栄養士の資格を取得できるよう頑張ります。



大学 食物栄養学科 前田 真子

## 卒業

277人が卒業 「尊敬・責任・自由」の精神を胸中に

大学院修士課程第22回、大学第47回、短期大学部第65回、同専攻科第15回の修了式・学位記授与・卒業式が3月18日、建学記念講堂で行われた。開成学園オーケストラによる演奏のあと式典に入り、大学院修士課程2名、大学49名、短期大学部200名、専攻科5名の合計277人が呼名され、各科総代に関口修学長から学位記および卒業証書が手渡された。関口修学長は告辞として「大学で



3月3日、ひな祭りのよき日、建学記念講堂において第57回の卒業式が挙行された。普通科56名、音楽科8名、美術科12名、食物科32名の計108人が式に臨んだ。各クラス担任の呼名に一人ひとりが大きな声で返事、それぞれの科の代表に卒業証書が渡された。その後、表彰に移り、学園長賞4名、学校長賞2名、皆勤賞26名、精勤賞3名が表彰された。八幡校長が「卒業おめでとう。これから先、自分の思った通りにならないこともあるでしょう。しかし、問題から逃げずに、苦しくても踏ん張って前向きに生きて欲しい」と述べた。

続いて附属高校2年の遠藤和さん、附属幼稚園児の菅野奏君と米竹葉芭さんがお別れの言葉を贈った。そして大学・人間生活学科・矢吹香里さんが送辞を述べた。それに対して短大・福祉情報専攻の吉田美希さんが惜別の思いを感謝の言葉に託し告辞とした。

### 附属高等学校

梅の蕾がふくらみ始めた3月19日、附属幼稚園の第61回の卒園式が建学記念講堂で行われた。お家の方に温かく見守られる中、29名の卒園児一人ひとりに賀門園長先生から「げんきで、あかるく、てんまでのびよ」と書かれた卒園証書が手渡された。また、卒園記念樹(白梅)が一本ずつ贈られた。先生方は会場を出る卒園児を拍手で送り、「幼稚園で大切にできた『よくみる、よくきく、よくかかると』を小学校でも思い出すように願っていた。



### 卒業研究発表会

梅の蕾がふくらみ始めた3月19日、附属幼稚園の第61回の卒園式が建学記念講堂で行われた。お家の方に温かく見守られる中、29名の卒園児一人ひとりに賀門園長先生から「げんきで、あかるく、てんまでのびよ」と書かれた卒園証書が手渡された。また、卒園記念樹(白梅)が一本ずつ贈られた。先生方は会場を出る卒園児を拍手で送り、「幼稚園で大切にできた『よくみる、よくきく、よくかかると』を小学校でも思い出すように願っていた。

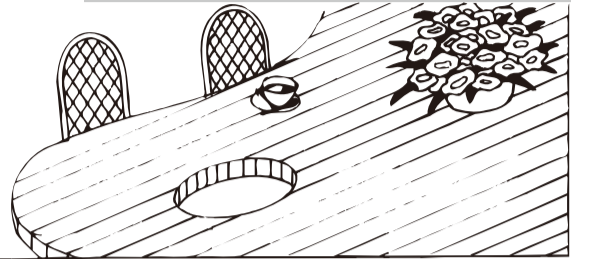


### 卒業研究発表会

- 大学・人間生活学科
  - ▽生活総合コース
    - ▽食料品の価格表示に関する研究
    - ▽店頭調査およびアンケートに調査結果を踏まえて
  - ▽福祉コース
    - ▽福祉教育の実態と時代背景に対応したアプローチ
    - ▽障がい児を育てる保護者の意識および今後の課題
  - ▽建築デザインコース
    - ▽福島県国見町における国見石の生産と石蔵の成立・変遷
    - ▽豪雪地域における雪害・防災力に関する基礎的研究
    - ▽福島県の市町村を対象として
- 短大・家政科食物栄養専攻
  - ▽山菜中の放射性Cs濃度及び調理による変化
  - ▽大麦を用いた料理の検討―食物繊維とビタミンの観点から―
  - ▽しみ大根の給水にもなる重量変化について
- 短大・文化学科
  - ▽刀鍛冶と蛇土師の月山丸伝承
  - ▽美人画からみる働く女性
  - ▽地獄信仰の諸相―消費される聖―
  - ▽白河小峰城の今とこれから―復興から見る新たな活用―
  - ▽笹山原遺跡No.16の出土の土師制作技術の研究―素地混和材の検討―
  - ▽黄金文明トラキアの死生観
  - ▽カントリー・ハウス建築から見るイギリス貴族
- 専攻科・文化学科専攻
  - ▽先祖が残した戦中日記―北越戊辰戦争を読み解く―
  - ▽近代における飯豊山信仰について

# ティールーム

コミュニケーション・フォーラム



## ヨーグルトとサプリメント

伊藤 哲章

最近の私の趣味を2つ紹介します。1つ目は「カスピ海ヨーグルト作り」です。今年の2月に恩師より花粉症に効くということで頂きました。ここ数年花粉症に悩まされていたので、すぐに作ることにして朝食を食べ始めました。すると、驚くことに今年には花粉症の症状が軽く、ほとんど薬を飲まずに済みました。現在では、週末に家族全員の1週間分のヨーグルトを作り、妻の実家にも届けています。花粉症に悩まされている人には是非お勧めします。カスピ海ヨーグルトは常温で発酵するのでとても簡単に作れます。インターネットで検索すると、作り方がたくさん出ていますのでそちらをご覧になって下さい。

2つ目の趣味は「マラソン」です。2年前に友人から誘われ、無謀にもフルマラソンに出場しました。どうにか完走はできましたが、散々な結果で

した。しかし、完走後はこれまでの人生で経験したことのない達成感がありました。それ以来、通勤時間を利用してながらマラソン練習をして各地の大会に出場しています。現在の目標はサブ4です(フルマラソンで4時間切り)。先日は、本学の教職員や学生らと一緒に揃いのTシャツを着て、郡山シティーマラソンに出場しました。現在、来年の郡山シティーマラソンと一緒に走る人を募集していますので、興味のある方は声をかけて下さい。(短期大学部・幼児教育学科講師)

## 5月に思う「人間の…」



短大 文化学科2年 真船 文香

私は生活における変わり目が好きです。何故ならこの時期に人々の感情が露わになるのが面白いからです。露わと言っても新しい他人と距離を測っている新入生には、この現象は起こりません。これが起こるのは、進級し去年も生活を共にしていた人たちです。お互いを少し理解し距離感をつかんできたものが、5月頃になると崩れます。「5月」という時期は、人間の本音が無意識に出てしまうのです。自覚がないので、その一言に他人が傷ついていることが分らない事が厄介です。この時期になると、「去年は一緒にいたのにどうしたの？」が増えてきます。去年は口にしていなかった本音がポロリと出てしまい、上辺だけの関係だった人間が離れていき、本音で話し合える友達が出てくるのです。この経路を見ているとその人がどんな人間なのかが分かります。

それは良い意味でも悪い意味でも、

人間らしい感情が出ていて素晴らしい現象と言えるでしょう。ここで無理をして他人に合わせると本当の友達が出来る機会を逃してしまい、「真実の友」と巡り合える機会を失うのです。

これは私の個人的な意見です。皆さんが得る一生の友は実は近くにいるのではないですか？探さなくても運命の巡りあわせで平凡な日常の中で出会っているかもしれません。

## 知の祭典に挑戦!



附属高等学校 普通科3年 寺山 七々瀬

私たち科学部は、昨年11月に行われた福島県高等学校総合文化祭自然科学部門で最優秀賞を受賞しました。そして今年8月、広島で行われる全国高等学校総合文化祭自然科学部門に参加することになりました。

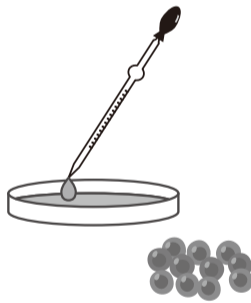
昨年の夏休みの前、研究テーマを決め実験に取り組み始めました。研究テーマは「人工イクラの膜の強度について」です。このテーマを設定したのは、インターネットで見た「持てる水」に興味を持ったからです。実際に「持てる水」を作るために実験してみると、水に膜が出来て、本当に持てるようになり、そこで、膜の強度を測りました。膜が破れるまで何度も実験を繰り返し、膜を作るためのさまざまな材料を試しました。そして



材料の組み合わせによって、強度にさまざまな変化が生じることがわかりました。

大会では、他校の発表を聞いた後、緊張や不安の中で私たちも発表しました。何度も練習していたおかげで順調に発表できました。発表の最後に審査員の方から質問がありましたが、きちんと受け答えすることが出来ました。結果発表までの間、他校のポスター展示を見て今後の発表の参考にしました。いよいよ結果発表。「最優秀賞、郡山女子大学附属高等学校」。信じられない思いでした。今は卒業していった先輩たちが賞状を持って帰ってきた時、ようやく喜びを実感することが出来ました。

私たちは全国大会に向けて、これからもさらに実験を積み重ねて行きたいと思えます。卒業していった先輩の思いを引き継ぎ、精一杯頑張っていきたいと思えます。



## 私の本棚

郡山女子大学食物栄養学科

教授 鋤野 信子

狭い我が家には約7000冊の本がある。本は我が家の財産であるため、決して処分しないが、あまりの多さに耐えられなくなり、昨年からは整理して倉庫への移動を始めた。そんな中で45年くらい前に父が買ってくれた「学生海外文通」と「海外文通日本紹介」を発見した。

当時は、日本全国で文通が流行しており、私のペンパル(現在のメル友の

先日、教室に隣接する中庭の草むしりを学生としていたら、背丈も高く黄色い花をつけている草やふさふさと茂っているスギナなどに気づいた。あまり気にしたこともなかったが、いつの間にかこんなに育っていたのだらうと感じたのだ。

また、いつだったか、何気ない道端に甘く優しい香りが漂っているのに気づき、周囲を見ると、歩道の植え込みに白い可憐な花がたくさん咲いていた。200メートルも続く植え込みなのに、植え込みがあることすら気づいていなかった。見えていたはずなのに、この2つの体験は、人の意識の持ち方に関係しているように感じる。音楽の世界でも、楽譜を見ているのに見えていない、音を聴いているのに聴こえていないということはよく起こる。

## 生活診断室 シリーズ 55

### よくみる よくきく よくかんがえて

郡山女子大学短期大学部 准教授 横溝 聡子

授業中に「よく見て」「よく聴いて」と言うことが度々ある。注意点を指摘に対し「はい!」と返事が返ってきても、改善が見られない時、「何に気を付けるの?」と改めて質問すると「あっ、〇〇です。」と漸く気づくこともしばしば。この「気づき」が大切だといつも感じている。楽譜の細かい指示を読み込み、明確に意識できた時、どうしたらよいかを考えることができた時に、不思議な程にそれまでとは違った表現へと変化していくのである。

ただ漫然と見た

り聴いたりせず、いかに脳で注意深く意識し、考えるか。日常的な小さなことでも少し意識して生活するだけで、もの見え方や聴こえ方、そして学習効果なども違ってくるのではないかしらと思う。

ようなもの)が20人程度いて、毎日手紙が届くのを楽しみに郵便受けを覗いていたものである。日本返還前の沖繩からは\$の切手が貼られたエアメールが届いた。海外のペンパルは、アメリカ人とマレーシア人だったと記憶している。この本で、英文手紙の書き方を学んだ。Dear Friend、で始まり、Sincerely yours、などで締めくくる。封筒の書き方も失礼のないように細心の注意を払った。エアメールでも1ヵ月かかるため、その間に次回の手紙を書くための準備期間があった。

英和辞典だけでは思うような文章は作れないので、この「日本紹介」はとても役立つ思い出深い本である。現代は、インターネットを介して、翻訳機能も利用して世界中の人々と瞬時にメールのやり取りができ、海外の情報も簡単に得られる。そのためか、ネット時代に育った若者の海外への憧れは乏しく、このような本も不要に思える昨今である。

それにしても本の置き場に困っている我が家の本棚も、いよいよネットによる電子書籍に頼らざるを得なくなりそうである。

# ようこそ 郡山開成学園へ 新任教職員の方々のご紹介

## 郡山女子大学

〔新採用〕

(4月1日付)



長谷川 貴弘 講師  
東北学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程修了  
内閣府政策統括官(経済財政分析担当)付参事官(海外担当)付任期付職員  
所属 大学・食物栄養学



黒澤 廣子 講師  
郡山女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻卒  
(財)天田総合病院附属太田西ノ内病院栄養部科長  
所属 大学・食物栄養学

## 短期大学部

〔新採用〕



齊藤 弘久 教授  
日本大学芸術学部芸術研究所2ヶ年修了  
東京藝術大学美術学部デザイン科平面工房 非常勤講師  
所属 短大・生活芸術科



古川 督 講師  
九州保健福祉大学大学院修了  
平成26年度から期限付き講師  
所属 短大・幼児教育学科

## 附属幼稚園

〔本採用〕



菅原 久美子 教諭  
郡山女子大学短期大学部幼児教育学科卒  
平成23年度から期限付き教諭  
所属 幼稚園

## 事務局

〔新採用〕



降矢 正一 事務局長  
京都産業大学経営学部経営学科卒  
郡山市水道事業管理者  
昭和技术設計(株)総務部長



阿部 真澄 職員  
明治学院大学文学部英文学科卒  
平成22年度から期限付き職員  
所属 総務部



菅野 真由美 職員  
郡山女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻卒  
平成25年度から期限付き職員  
所属 高校事務局

## 期限付雇用職員



添田 祐司 講師  
駒澤大学文学部社会科学科社会学科卒  
社会福祉法人郡山市社会福祉協議会  
所属 大学・人間生活学



坂野 史明 准教授  
東北大学大学院農学研究科応用生命科学専攻博士後期課程修了  
神戸山手短期大学生活学科学食デザインコース非常勤講師  
所属 大学・食物栄養学



猪股 照子 講師  
聖徳大学人文学部心理学科卒  
郡山女子大学短期大学部幼児教育学科非常勤講師  
所属 短大・幼児教育学科



庄司 みさ紀 助手  
郡山女子大学家政学部食物栄養学専攻  
株式会社丸峰庵  
所属 短大・食物栄養専攻



佐藤 愛未 講師  
中央大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程前期課程修了  
千葉県文書館県史古文書課嘱託職員  
所属 短大・文化学科



佐藤 明教 講師  
福島大学大学院教育学研究科修了  
福島県立安積黎明高等学校講師  
所属 附属高校



遠藤 奈津子 職員  
白鷺大学法学部法律学科卒  
一般社団法人福島県介護支援専門員協会  
所属 教務部

### 昇任

大学/教授 安田純子(准教授)・関口 晋(准教授)・准教授 影山志保(講師)  
短大/講師 仲田佐和子(助教)・助手(授業補助担当) 齋藤藤朋子(学務担当)

附属高校/校長 佐々木貞子(副校長)・教頭 平栗洋三(教諭)  
事務局/管財部用度係長 佐藤利枝子(用度係主任)

平成27年度で退職された方々  
3月末日、次の方々が(学)郡山開成学園を退職なさいました。  
これまでのご尽力に心から感謝し、今後のご活躍、ご健闘をお祈り申し上げます。

【第一定年】  
短大/鈴木祥子講師  
附属高校/平文敏主事・新井彰平教諭  
家庭寮/本田徳道調理部主任  
事務局/結城マチ子総務部庶務係長

【第二定年】  
大学/根本恵美子講師  
【依願退職】  
大学/垣花真一郎准教授・渡邊英勝講師・泉秀生講師  
短大/久家三夫教授・島山祥正教授・茂木恭子助手(授業担当補助)

附属高校/八幡文明校長  
事務局/増井志真教務部職員  
家庭寮/阿部山久能職員  
【期限付期間満了退職】  
大学/藤本健四郎教授・遠藤恵助手

短大/阿部俊夫准教授  
事務局/池田さおり職員(放送大学)  
【異動】  
高橋 一 総務部庶務係長(経理部経理係長)

# NEWS 学園ニュース

## 附属高等学校校長杯で 渡利中が優勝!

郡山女子大学附属高等学校校長杯バレーボール大会が2月20日に開かれ、渡利中(福島)が初優勝した。  
大会には県北、県中、県南、いわき地区から12チームが参加、予選リーグと決勝トーナメントで順位を決めた。成績は次の通り。  
優勝 渡利中(福島)  
準優勝 福島三中(同)  
3位 東北中(白河)  
郡山七中(郡山)



熱戦が繰り広げられた

## 第3回「天栄のうまい井」 アイデアレシピコンテスト

佳作 桑名茉莉(高3年)  
3月25日、郡山市総合体育館で行われた。女子シングルスに出場した菊田茉莉さん(高2)が県勢最高の5位に入賞した。  
個人戦には全国各地から48人が参加。165センチの長身を生かした菊田選手の強烈なスマッシュが炸裂、落ち着いたプレーで見事勝ち進んだ。

## 第43回全国高校選抜 卓球大会

個人5位 菊田 茉莉(高2年)  
女子シングルス一次リーグ  
菊田茉莉 3-0 阿部咲良 (大分・杵築)  
3-0 加藤未央 (京都・福知山成美)  
決勝トーナメント一回戦  
3-1 山崎真緒 (岐阜・長良)  
準々決勝  
1-3 青木芽生 (東京・東海大菅生)

## 第14回インスタントラーメン オリジナル料理コンテスト'16

入選 齋藤 海帆(高3年)  
「福が満開!彩り野菜とサーモンのホワイトラーメン」  
日本即席食品工業協会主催。全国から1878点の応募があった。書類選考を通った全国の12人が決勝で料理を披露した。

## 第19回マーチング&バトン オンステージ全国大会 優秀賞と講評者特別賞受賞

マーチングバンド部(6年連続7回目)  
2月20日・21日、横浜市の神奈川県民ホールで行われた。

## 第9回音楽アンサンブル コンテスト 惜しくも銀賞

8回目の出場となった附属高校合唱部は「おお 救いの生贄よ」など3曲を美しく会場に響かせ、銀賞に輝いた。



熱戦が繰り広げられた

## 全日本ジュニアクラシック 音楽コンクール全国大会

声楽の部  
3位 平川 瑠奈(高3年)  
ピアノ部門  
入選 橋本 千夏(高3年)

## 熊本地震への義援金 附属高校生徒会と 大学・短大友会が届ける

附属高校生徒会が生徒・教職員から募った5万4949円を復興に役立ててほしいと福島民郡山本社へ寄託した。また大学・短大友会も学生・教職員から募った12万円を「被災者支援に役立ててほしい」と6万円ずつ、大学学友会会長の穂積春乃さんと、副会長の佐々木美波さんが、福島民報社、郡山本社と福島民友新聞社郡山総支社へ届けた。



▲生徒会長の佐藤千桐さん(左) 副会長の藤沼あかねさん

## 生活芸術科実技講習会 音楽科技術講習会の 日程決まる

夏休み恒例の短大・生活芸術科の実技体験講習会は、7月22日(金)から24日(日)までと決まった。  
また、音楽科の受験生を対象とした技術講習会は、8月4日(月)と5日(火)の2日間。近く要綱が発表されるが、定員制なので申し込みはお早めにどうぞ。

## 訃報

森 一先生  
元郡山女子大学教授  
1月25日死去 90歳  
心から冥福をお祈り申し上げます。

### 和食の原点を学ぶ — 附属高校田植え体験 —

風薫り新緑が目まぶしい5月13日(金)、附属高校食物科の1・2・3年生76名が、郡山市三穂田町の水田で田植えを行った。

専門調理を学ぶ生徒として、安全安心な米が生産される過程を学ぶことを目的として、JA福島さくらの協力を頂いて実現した。生徒たちは昔ながらの手植えにより、13アールの「田んぼ」にコシヒカリの苗を植えた。生徒たちは初めての体験に戸惑いながらも、泥の感触も楽しみ、自分自身の手で苗を植え進めた。今後秋の収穫時期まで成長を見守り、収穫された米は、10月に開催される学園祭の「もみじ会」で来場者に喫食して頂く予定となっている。

生徒が田植えを行った田んぼには美術科が作った看板が設置され人目を引いていた。



初めて体験する田植え

### 「田んぼの学校」で田植え

短期大学部家政科食物栄養専攻2年生40名は、5月26日(水)県農業総合センター主催の「田んぼの学校」で、「田植え」を行った。初夏の陽射しの中、もち米の「こがねもち」とうるち米の「天のつぶ」の苗を水田2枚に植えた。「田んぼの学校」では「食と農の大切さ」について学ぶ。学生は職員から稲作の講義と田植えの指導を受け、手でいねいに植えた。秋には稲刈りと食味試験を予定している。



### 学生、教職員共に 郡山シティマラソンに参加

第23回郡山シティマラソンが4月29日、新緑に包まれた郡山市開成山陸上競技場をスタート・フィニッシュに開かれた。

今年度は短大・幼児教育学科2年の佐藤朋美さんと猪越悠稀さんが一般女子18歳以上5キロの部に出場し、完走した。

このほか教職員7人もそろいのTシャツで初参加。爽やかな汗を流し、「来年も参加したい」と意気込んでいた。



おそろいのTシャツ姿で

### 購買部前の池に 珍客現る!?

鴨のヒナが1羽、2羽、13羽!? 学生、教職員の誰もが気がつかない間に母鴨が卵を生み育てていたようです。池の主の亀さんに挨拶をした後、学内をピヨピヨ散歩。ホットなニュースを届けてくれました。現在は住居を開成山公園に移し、公園生まれの親子と仲良く過ごしているそうです。



母鴨のあとをついて懸命に泳ぐヒナたち

### 元学園長先生宅跡地が 学生会館に生まれ変わる

郡山女子大学学生会館の改修工事が終わり、貸し出しが始まった。建物は鉄筋コンクリート造りでかわらぶき2階建。延べ196・10平方メートルで、1階は会議室(2室/和室10畳)2階は茶室(1室/6畳)・談話室(2室/洋室10畳と8畳)になっている。学生の集会、研修会、同窓会、会議等に使用できる。駐車も20台可能。

利用希望者は1週間前までに「学園施設使用申請書」へ必要事項を記入して管財部に申し込むこと。



広々とした和室

### 大学・人間生活学科 市民講座開催のお知らせ

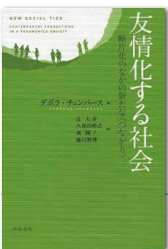
郡山女子大学家政学部人間生活学科主催の市民講座「暮らしのページ」が次の日程で開催される。

- 開催日/7月23日(土)13:00~15:30(12:30開場・途中入場可)
- 場所/創学館3階531教室
- 参加費/無料
- 講座内容
  - ▼生活総合コース(13:10~13:50)  
「こどもの生活と教育費—教育格差をどう考えるか—」  
佐久間 邦友専任講師
  - ▼福祉コース(14:00~14:40)  
「支え合いのまちづくり—地域福祉活動のススメ—」  
添田 祐司専任講師
  - ▼建築デザインコース(14:50~15:30)  
「建築のみかた—歴史的建築物を100倍楽しむ方法—」  
長田 城治専任講師
- 主催/郡山女子大学家政学部人間生活学科 生活総合コース・福祉コース・建築デザインコース
- 問い合わせ先/郡山女子大学人間生活学科 大泉先生まで。  
024-932-4848

### BOOK 大学図書館だより

#### 新しい本が届きました… 第1回

今号から、学園紙面上にて大学図書館の新书推荐をご紹介します。



『友情化する社会』  
デボラ・チェンバース 編  
辻大介 他 訳  
岩波書店 刊  
請求記号 361.3||Che

『ギヴァー  
記憶を注ぐ者』  
ロイス・ローリー 著  
島津やよい 訳  
新評論 刊  
請求記号 933.7||Ro



### 紙上美術展 79

### 美術科

郡山女子大学附属高校美術科3年生油彩画専攻者の作品です。授業のみならず、朝や放課後の時間を活用して熱心に制作を行っています。美術科では3年間の集大成として卒業作品展を実施しており、その展示に向けて制作した最初の作品です。



いがらし めい  
五十嵐 夢衣  
幸せの犬  
F50号

愛犬の愛らしい姿を描きました。四季のように様々な表現を見せ、家族をいつも幸せな気持ちにしてくれます。愛情を込めてこの作品を制作しました。



はしもと れいか  
橋本 麗華  
心の瞳  
F50号

この作品は私の心の中を描いた作品です。中心にある丸い球体は私自身です。私の感動が涙となって流れだし、それを養分にして花が咲く、というイメージで描きました。

### 木もれ陽

うちの子ども達が学校で揃って吹奏楽部に入っている。楽器はそれぞれで一人はオーボエ、一人はホルンだという。私の家系的に楽器をしていたご先祖様は見当たらず、ある意味突然変異とも言えるかもしれない。私自身も昔、部員不足の吹奏楽部に無理やり入らされてトランペットを手にしたものの、2ヶ月程度で断念したクチである。我が家の子達…特に下の子ども達も最初こそ難しさに閉口していたようであるが、一つ一つの音が出てくることに喜びを感じ、以前は絶対無理!と言っていたクラシックの曲の演奏にもチャレンジし始めている様である。そうした姿を見る度に私の心の中にも小さなうらやまが湧いてくる。

人生にとって音楽は無いと生きていけないものではないかもしれないけど、それが無いととても味気ない。そうした音楽を自分で創り出している術を一つ多く手にした我が子。決して楽では無い人生に自分で潤いを与えることが出来る事は大事だと思ふ。

そんな我が家の片隅から私の方を添ってみる、弦が少し錆びかかっている。そんな時間が無いと言ってしまうのでは無く、水泳の息継ぎのように音に触れる時間を作ってみようかなと思ふ。たとえ下手な音でも側にあることで、また違う時間を感じさせてくれるだろう。(賀)